**岡山県知事　伊原木隆太様**

**２０１９年１月３１日**

**民主県政をつくるみんなの会**

**代表委員　中島純男**

**植本寛治**

 **大西幸一**

**佐古浩之**

**豊田依子**

**花田雅行**

**鷲尾　裕**

**岡山県民の安全・安心を守るために「日米地位協定」の見直しを**

**政府と国会に要請するよう求める要請書**

全国知事会は、２０１６年に設置した「米軍基地負担に関する研究会」を６回にわたり開催し、日米安全保障体制と日本を取り巻く課題米軍基地負担の現状と負担軽減及び日米地位協定をテーマに、資料に基づき意見交換を行いました。また、有識者からのヒアリング行うなど、共通理解を深めた結果、２０１８年７月２７日に全国知事会として全会一致で「４項目の提言」を決定し、安倍内閣に提言しました。この提言は、全国どこに住んでいる人も納得できるものになっています。

米軍が共同使用する基地に指定されている自衛隊日本原演習場では、米軍の要請で２００６年から「日米共同訓練」が行われ、２０１８年１０月に米海兵隊岩国駐屯部隊の単独訓練が行われました。今後毎年行われます。

米軍岩国基地は、米空母艦載機が移駐し、頻繁に墜落事故を起こしています。　オスプレイなどの訓練量が増え、中国山地に設定されている低空飛行訓練域「ブラウンルート」での訓練が行われています。　岡山県南部上空の飛行もあり、岡山空港には二度も「訓練中の緊急着陸」がありました。

２０１１年３月２日に、津山市上空で米軍戦闘機の低空飛行訓練が行われ、土蔵崩壊と母屋被害が発生しましたが、米軍は一切責任を認めず、被害賠償もせず未解決になっています。

それだけに、全国知事会の提言は、岡山県民の生命、財産を守り、住民生活の暮らしと安全を守るためには、きわめて重要なものです。

県民の代表として「提言」に基づき、次のことを政府と国会に対して提出することを要請いたします。

　　**「要請内容」**

**（１）米軍の低空飛行訓練、日本原演習場などについては、訓練ルートや訓練の行われる日時について速やかに事前情報の提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の安全の確保と不安を払拭すること。**

**（２）米軍人等による事件・事故に対し、具体的かつ実効的な防止策を取り、航空機騒音規制措置については、国の責任で騒音測定器を増やして必要な実態調査を行い、住民の実質的な負担軽減を図ること。**

**（３）日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令など国内法を原則として米軍にも適用することや、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立ち入りの保障などを明記すること。**

**（４）施設ごとに必要性や使用状況を点検した上で、基地の整理・縮小・返還を積極的に促進すること。**